

第6号議案

嬉野宇気郷地域計画

平成29年4月作成

嬉野宇気郷住民協議会

1. 嬉野宇気郷地区の概要

(1) 地域の特徴

嬉野宇気郷地区は、雲出川の支流である中村川の上流部に位置し、嬉野管内で最西端の静かな山里です。市内で最も高齢化率の高い地区であり、小原自治会と上小川自治会、合わせて83世帯、143名（平成29年3月1日現在）が暮らしています。

歴史については、明治22年に町村制が施行され、宇気郷村が発足しましたが、昭和30年の合併時に分村し、小原と上小川は嬉野町となりました。平成17年には、嬉野町と松阪市が合併し、旧宇気郷村は2地区となっています。その昔は、伊勢の国司であった北畠氏が治め、髯山には、当時の情報伝達手段であった、烽火（のろし）場の跡が残っています。

豊かな自然が自慢のこの地区は、展望台が整備されている「髯山」をはじめ、肥前滝や冷谷不動滝など、観光資源もあり、初夏には、市の花である「やまゆり」が咲き、多くの人を訪れます。また、今では少なくなりましたが、中村川やその支流では、鮎やあまごなどの釣りが楽しめます。

また、行事としては、平成7年から地区の活性化を目的に「嬉野宇気郷まつり」を実施してきました。ふるさとを離れた人々や市内外の方々に訪れていただき、宇気郷の自然にふれ、地区のみんなを元気づけてもらおうというものでしたが、このまつりも20年以上経過し、地区での開催が負担となってきた部分もあり、平成28年度で幕を閉じました。その他の行事としては、やまゆり保存会が行う「やまゆりおもてなし茶会」などがあります。

(2) 基礎データ

人口の推移（人・世帯）

		19歳以下	20歳～59歳	60歳以上	人口	世帯
17年度	小原	4	51	111	166	75
	上小川	1	11	49	61	37
計		5	62	160	227	112
22年度	小原	4	26	97	127	69
	上小川	1	11	37	49	34
計		5	37	134	176	103
28年度	小原	2	17	73	92	53
	上小川	6	16	29	51	30
計		8	33	112	143	83

(3) 地域の主な課題

①人口減少と高齢化

昭和30年の分村合併時には、約250世帯、1,200名程が住んでおり、主産業であった林業で活気があり、多くの子どもたちでにぎやかでした。

しかし、生活の不自由や通学、通勤の不便さなどから、転出が増え、昭和57年の台風被害が人口減少に拍車をかけました。近年は、他県等から転入される方もありますが、高齢化した住民が施設等へ入所される、亡くなるといったことも減少の原因となり、ここ10年間で70名も減っています。

人口減少とともに高齢化が進んでいることもあり、自治会編成についても検討していく必要があります。

②生活環境の整備

生活環境の劣化が進んでいます。生活に必要な不可欠な給水も、簡易水道を整備する資力もなく、井戸水、谷水を使ったままです。近年は、井戸の水不足に悩まされ、谷水の浄化設備の掃除もままなりません。農協を始め、わずかな店も無くなり、食料品や生活用品を求めることも不自由になっています。特に、運転できない高齢者は困っており、福祉タクシー的なものが必要です。

医療機関等が遠いことも心配です。公民館に診療所は開設されていますが、急な病気や怪我の場合、すぐに対応できず、救急車も時間がかかります。

空き家が増えていることも課題です。長い間空いていた家は朽ち果ててきており、景観もそうですが、火事等の心配もあります。

③自然環境の保護

自然環境の整備、獣害対策も必要です。特に、獣害については、わずかな田畑を荒らされ、被害にあっています。防護柵の設置などの対策も、個人では対応しきれなくなっています。森林や屋敷の木々についても、手入れができなくなっており、枝が道路に覆いかぶさったり、山が荒れたりしており、雑草が伸び放題の所も目立ちます。この地域にだけ自生する「やまゆり」も随分減っており、保護育成が求められています。

また、急傾斜地が多く、災害時における土砂崩れ等も心配されます。危険個所の早急な整備を市県等に要望していく必要があります。

④人づくり地域づくり

村落共同体としての慣習などが残る地域ですが、人間関係の希薄化が進んでいます。人口減少、高齢化により、これまで普通に行ってきた地域の行事ができなくなり、日々の生活に追われる住民は、自分の身の心配で精一杯です。これから自分たちのやるべきことを考える場合、改めて、お互い様の関係づくりが重要であり、助け合い、支え合っていくことが必要だと考えます。

また、生活していくうえでは、経済面の充足が必要です。地域づくりの一環として、働く場の創出について地区全体の課題として捉えています。

2. 地域の将来像

～自然を享受し、元気で穏やかに暮らせるまち～

【将来像の考え方】

人口減少、高齢化の進む中、この地域で暮らす私たちは、お互いに助け合い、支え合って生活していくことが必要です。少し不便なところがありますが、豊かな自然の中で生まれ育った私たち、この地を終の棲家にした私たちには、愛すべきふるさとです。そのふるさとの自然を守り、未来に引き継いでいくことは、ここに住む私たちの役目です。

享受とは、「あるものを受け入れ、自分のものにする。受け入れて、味わい楽しむこと。」とあります。自然も人も、その中での生活も、そして将来も、あるがままに受け入れ、楽しむことのできる地域にします。少し病気があっても、少し不便でも、私たちは仲良く、元気で穏やかに笑って過ごせるよう、みんなが力を合わせてまちづくりに邁進します。

3. 地域の目指す姿

(1) 支え合って暮らしやすいまち 《地域安全部会》

この地区は、生活の不便さに加えて、高齢者の一人暮らしも多く、身体的な不自由さも加わります。給水の確保、医療、買い物、交通など、ここで暮らしていくためには、行政の福祉的支援が不可欠です。

この地域での暮らしを守るため、行政と協働で生活環境の整備を進め、ここで暮らす私たちも、お互いが助け合い、支え合って、自らの生活を守り、少しでも暮らしやすくなるように努力を積み重ねていきたいと考えます。

- ① 見守り事業
- ② 宅老所の充実
- ③ 給水対策
- ④ 地域交通対策

(2) 安全で安心して暮らせるまち 《地域安全部会》

過去に大きな災害を受けたこの地区では、防災意識は高く、台風時も早めの避難を心がけています。しかし、地震など万一の災害に備え、地域の自助力・共助力を継続的に培っていく必要があります。また、静かなこの地域でも、交通事故や振り込め詐欺などの被害が心配されます。

正しい知識と行動を身につけるための防災・防犯対策を進めます。

- ① 防災対策・・・対策本部の設置、防災カルテ作成、防災講座
- ② 防犯対策・・・防犯灯の整備、防犯講座
- ③ 交通安全対策・・・交通安全教室
- ④ 空き家対策・・・空き家バンク

(3) 笑顔と会話でつながるまち 《地域元気部会》

この地区に住むみんながつながり、仲良く穏やかに、日々の生活を送るために、また、転入された方や家族が、地域に溶け込むためには、みんなが一緒になって地域づくりに参画することが必要です。

そのためには、集う場づくりや機会づくりを進め、コミュニケーションを培う必要があります。そして、みんなで話し合って物事を決めていくというマネジメントを進め、住民協議会のスムーズな運営を目指します。

- ① 住民交流事業
- ② 公民館サロン計画
- ③ 敬老事業
- ④ 住民協だよりの発行

(4) 自然環境を生かし、守るまち 《地域安全部会・地域元気部会》

自然と共存して生きていかなければならない地域であるため、環境保全に努め、自然をうまく活用できる取り組みを進めます。

手入れのできなくなった森林や自宅の木々等は、協議会での草刈りや整備、市への要望活動を進めます。獣害対策についても、防護柵の設置などに取り組み、花いっぱい運動、ごみゼロ運動など、環境美化活動を進めます。

また、自然の資源を活用したイベントや、青少年宿泊施設としての整備を進め、地域の活性化を進めます。

- ① 獣害対策・・・防護柵要望活動、ジビエ料理試作
- ② 環境保全活動・・・草刈大作戦、花いっぱい運動、ごみゼロ運動
- ③ 山ゆり保存活動・・・山ゆりおもてなし茶会
- ④ キャンプ地整備・・・公民館施設の整備（シャワー室の設置等）

(5) 健康づくりと生きがいづくりを楽しむまち

歳を重ねても寝たきりにならずに、元気で穏やかに暮らせるよう、健康づくり・生きがいづくりへの取り組みを進めます。日々の生活に目的と楽しみをもって、いきいきと過ごすため、軽スポーツ・レクリエーション活動を実施し、公民館活動を支援します。また、高齢者でも生きがいをもつてずっと働けるよう雇用の場づくりを考えます。

- ① 健康づくりの推進・・・軽スポーツ等の実施、健康講座、食活

- ② 公民館活動との連携・・・文化祭、先進地視察
- ③ 企業誘致活動・・・雇用の場の確保

4. まちづくりの具体計画

地域安全部会

事業名	事業内容	主体	スパン	予定	備考
(1)① 見守り事業	・安心確認機器の設置 ・配食サービスの検討 一人暮らし宅等への弁当の配食	協働 自主	中期 中期	H30～ H29～	要検討 検討
(1)② 宅老所の充実	・宅老所サロンへの支援	協働	短期	H28～	
(1)③ 給水対策	・井戸の清掃 ・飲料水供給施設の設置検討	協働	中期	H29～	
(1)④ 地域交通対策	・おおきんバス運行支援 乗車券購入助成、運行促進など ・福祉タクシーの検討	協働 協働	短期 短期	H29～ H29～	 要検討
(2)① 防災対策	・対策本部の設置 関係部署の連携協議、避難訓練等 ・防災カルテの作成 危険箇所の把握、避難経路の確認等 ・防災講座の開設	協働 自主 自主	短期 短期 短期	H28～ H28～ H28～	
(2)② 防犯対策	・防犯講座の開催	自主	短期	H28～	
(2)③ 交通安全対策	・交通安全教室の開催 ・看板の設置	自主 自主	短期 短期	H28～ H29～	
(2)④ 空き家対策	・空き家調査 ・空き家対策	協働 協働	短期 中期	H29～ H30～	 要検討
(4)① 獣害対策	・防護柵の設置及び補助金要望 共同での設置や、補助金の申請 ・検討会の開催 状況確認や対策の話し合いを実施する。 ・ジビエ料理の試作	協働 協働 自主	短期 短期 短期	H28～ H29～ H29～	
(4)② 環境保全活動	・草刈大作戦（年数回） ・ごみゼロ運動（年数回） ごみ拾いや清掃活動を一斉に行う ・花いっぱい運動 これまでの樹木管理や花の育成活動	自主 自主 自主	短期 短期 短期	H28～ H28～ H28～	

地域元気部会

事業名	事業内容	主体	スパン	予定	備考
(3)① 住民交流事業	・移住者交流会 転入者によるまちづくりを考える集い	自主	長期	H28～	
	・住民交流事業 軽スポーツ大会の実施	自主	短期	H28～	
(3)② サロン de 計画	・公民館サロン化計画 気軽に集まる場、茶飲み場づくりを予定	自主	中期	H29～	
(3)③ 敬老事業	・敬老会の開催（年1回）	自主	短期	H28～	
(4)③ やまゆり保存	・やまゆりおもてなし茶会の開催 ・保護増殖	自主	短期	継続	
(4)④ キャンプ地整備	・公民館にシャワー室等の設置 宿泊できる施設づくりを進める。	協働	中期	H30～	助成
	・中高大学の合宿誘致 ・キャンプ道具の充実	協働	中期	H29～	
(5)① 健康づくり	・軽スポーツ・レクリエーション大会の開催（うきりんピック）	自主	短期	H28～	
(5)② 文化祭の開催	・地区文化祭（月夜の音楽会）の開催 ・作品展示	自主	短期	継続 事業	

事務局

事業名	事業内容	主体	スパン	予定	備考
(2)② 防犯対策	・防犯灯の整備 両自治会の防犯灯、LEDへの整備助成	自主	短期	H28～	
(3)④ 住民協だより	・やまゆり通信の発行（毎月1回） 住民協の活動啓発・報告、予定の周知	自主	短期	継続 事業	
(5)② 公民館と連携	・公民館活動支援・連携	自主	短期	継続 事業	
(5)② 先進地視察	・先進地視察 公民館と共催で見聞を広げ、親睦を図る。	自主	短期	継続 事業	年1回
(5)③ 企業誘致計画	・過疎対策への行政支援 高齢者雇用	協働	中期	H29～	支援